



「五ヶ瀬中学校・学校便り」

# 学び舎

第 3 号

令和 4 年 4 月 21 日 (木) 発行  
文責: 校長 国生 尚

## 第 1 回参観日・学級懇談・教育振興会総会 ありがとうございました。

4 月 17 日 (日) は、今年度第 1 回目となる参観日でした。これに併せて学級懇談・教育振興会総会も実施させていただきました。貴重なお休みの日にもかかわらず、多くの保護者の皆さまにご来校いただきました。感謝申し上げます。

さて、教育振興会総会では、令和 4 年度の教育振興会の活動方針や予算案についてご審議いただき、皆さまのご理解とご協力の下承認をいただくことができました。今年度の教育振興会活動の基本線が決定しましたので、これをベースに諸活動が進められることになります。各専門部会の具体的な活動につきましては、それぞれの部から時期をみて別途ご提案いただきます。保護者の皆さまのご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

また、学校からの連絡として、昨年度の教務主任の筒井先生に今年度の新たな取組を中心とした教育活動の説明を行ってもらいました。時間の関係で詳細までの説明ができませんでしたので、学校便り等も活用して今後もよりわかりやすい説明を行って参ります。

## 今年度の五ヶ瀬中学校は 5 学級です

今年度の全校生徒数は「72名」です。そして学級数は「5 クラス」です。中学校では、1 学級あたりの人数の規準は、1 年生が 35 名で、2・3 年生は 40 名です。昨年度から 10 名以上生徒数が増えておりますが、生徒数に対して学級数が多いと思われた保護者の方もいらっしゃると思います。

学級数が多い理由は、1 年生と 2 年生は 2 学級ずつあるためです。では、なぜこのようなかたちになっているのか。4 月 7 日の始業日に生徒に語ったことばを使って説明します。

ひとは、誰一人として同じ人間はありません。

見た目や性格など、似ているところはあっても、少しずつ違っていて全く同じではなく、あるところは大きく違っているところがあるものです。

学校生活を送る中で多くの人たちは、人との違いを自分の中でうまく調節しながら様々な活動を行っています。ちょっと大変だけどみんなに合わせてやっていこうと、意識して（あるときは無意識に）生活をしているものです。

しかし、中には、違いが大きいためにうまく調節することが難しく、多くの人が普通と考えている生活を行うことが難しい人もいます。どうしても耐えられなくて、その場に居ることが苦しく感じる人もいます。

それは、その人のわがままでは無く、調節できる枠を超ってしまったためその人の努力ではどうすることもできないことが多いのです。みんなと同じようにしたいけれどできないという困難さを抱えているのです。「性格」とか「わがまま」ではなく、その人の「特性」と表現することができます。

見た目の違いや性格の違いなどが認められ、尊重されるのであれば、ひとり一人のもつ「特性」も認められ尊重されるべきです。

自分の力だけでは対処することが難しい人に対して、その特性に合わせて学習したり生活したりできる場が、1 年生と 2 年生にあるもう 1 つの学級です。その人に合った「個別」で「最適」な学習活動や生活を行うための場所です。

もちろん、すべての生徒に対して、可能な限りの「個別」で「最適」な教育活動を行って参ります。

※今回は文字ばかりになってすみません。最後までお読みいただきありがとうございました。